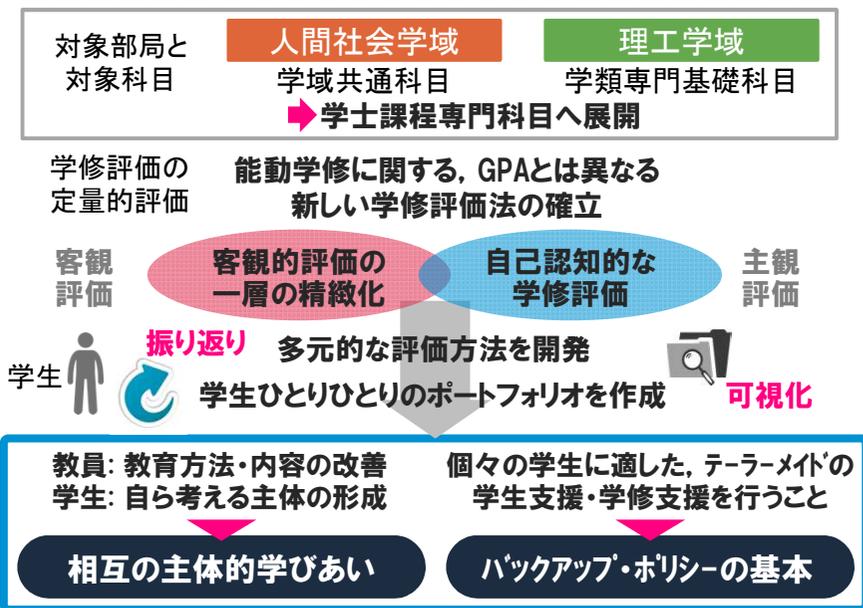
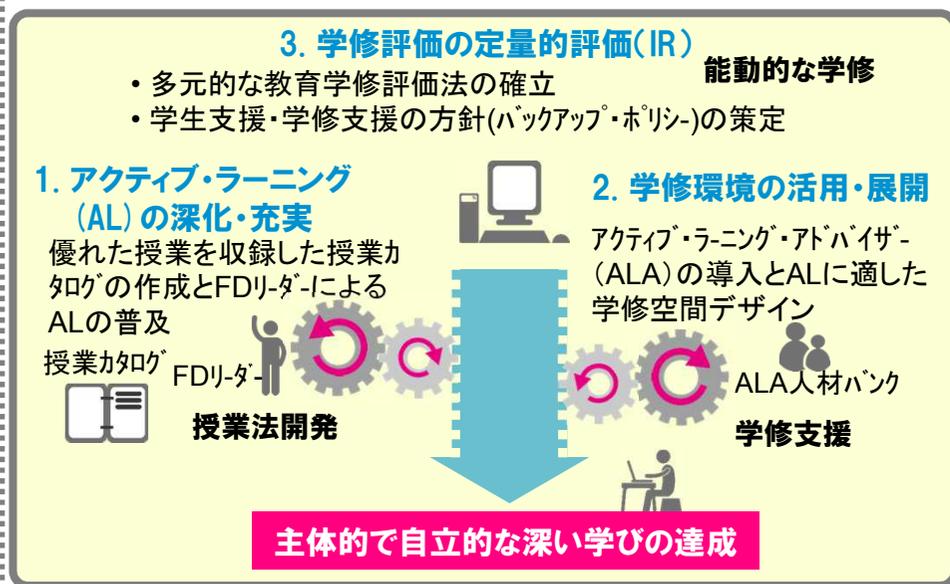


大学等名：金沢大学
テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）・Ⅱ（学修成果の可視化）複合型

学生の主体性を涵養するカリキュラム・教育方法・学修支援環境の統合的な改革を目的として、学士課程の専門教育を対象に3つの施策：(1)学域・学類の中核をなす科目群でのアクティブ・ラーニング(AL)の深化・充実、(2)ALに適した学修環境の活用・展開、及び(3)学修過程・成果の可視化による学修評価の定量的評価(IR)に取り組む。

5年間の取組で、次の成果を上げる。(1)ALの取組を収集・検証・普及するための授業カタログの整備、FDリーダーの養成、授業改善サイクルの確立。(2)アクティブ・ラーニング・アドバイザー(ALA)の養成、ワークショップ教室等の学修空間デザイン、グループ学修支援体制の確立。(3)多元的な教育学修評価指標の開発、学修ポートフォリオ／カルテの運用、学生バックアップ・ポリシーの策定。

（取組のポイント）

【事業の成果(代表的な指標)】

	26年度	28年度 (目標値)	30年度 (目標値)
アクティブ・ラーニングを受講する学生の割合	91%	95%	100%
学生の授業外学修時間	4時間	14時間	24時間

本事業の実施を通じて、これまでの改革を加速
第1ステージの改革

- 学域学類制のもとで学生が自己の適性・資質を見極めながら学ぶ環境の整備

第2ステージの改革

- 金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)を基軸とする教育カリキュラムの再構築
- 学生の主体性を涵養するカリキュラム・教育方法・学修支援環境の統合

